

Thrive リモコン

(スライブ)

取扱説明書



スターキージャパン株式会社

〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜2-6-23 3F
Tel.045-475-9701 Fax.045-475-9706

www.starkeyjp.com

© 2019 Starkey Japan. All Rights Reserved. INST0083-00-JJ-JP JPBR-JPYIN-083
2019年6月作成



各部の名称



- | | |
|-----------------|----------------|
| 1. 左右切り替えスイッチ | 5. メモリー切り替えボタン |
| 2. 音量アップボタン | 6. お気に入りボタン |
| 3. 音量ダウンボタン | 7. ホームボタン |
| 4. ミュート(消音) ボタン | 8. ロックスイッチ |

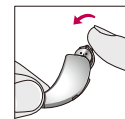
ペアリング手順

リモコンを使用するには先ず最初に、補聴器とペアリング(接続)させる必要があります。ワイヤレス操作ができる範囲内で両方の電源が入っているとき、自動的に相互認識します。

リモコンは片耳、両耳問わず補聴器とペアリングが可能です。

リモコンの使用を開始する前に：

1. ロックスイッチを左へスライドして、ロックを解除します。
2. 補聴器の電池ドアを一旦切って電源を入れ直します。そして、補聴器から30cm以内の範囲にリモコンを置きます。
3. ホームボタンを5秒間ほど長押しすると、左右のLEDランプが点滅します。
4. ペアリングが成功すると、LEDランプが点滅から点灯に変わります。



- 注：CROS補聴システムでは、補聴器とCROS送信機の両方の電源を切ります。そして、補聴器だけ電源を入れ、CROS送信機の電源は切れたままにしておきます。

5. 両耳装用されている場合：

- 左側の青いLEDと右側の赤いLEDが点滅から点灯に変わると、ペアリングは成功です。ペアリングが成功しない場合は手順2～4を繰り返します。

片耳装用(左)の場合：

- 左側のLEDが青く点灯すると、ペアリングは成功です。ペアリングが成功しない場合は手順2～4を繰り返します。

片耳装用(右)の場合：

- 右側のLEDが赤く点灯すると、ペアリングは成功です。ペアリングが成功しない場合は手順2～4を繰り返します。

6. 音量アップ/ダウンボタンを押して、音量が調節できることを確認します。



左右切り替えスイッチ



左右切り替えスイッチを使用して片耳または両耳を調整します。

両耳の場合：

スイッチを中央に位置することで、両方の補聴器を同時に調整できます。

片耳の場合：

スイッチの位置を切り替えなくても、リモコンが左右を判断して指令を送ります。

LED



リモコンを操作すると、左側は青、右側は赤のLEDが点灯します。両耳装用の場合は、両方のLEDが同時に点灯します。

音量アップ/ダウンボタン



短押し：補聴器のマイクから入ってくる音を大きくしたり、小さくしたりします。

長押し：他のアクセサリーからストリーミングされる音声を大きくしたり、小さくしたりします。

ホームボタン



補聴器をメモリー1の状態に戻し、音量を元の設定に戻します。

ロックスイッチ

ロック



← ロック解除



リモコンの操作を有効/無効にします。リモコンを使用しない時は、誤操作や電力消費を防止するためにもロックするようにしましょう。

メモリー切り替えボタン



補聴器にはいくつかのメモリー（プログラム）が設定されています。このボタンを押すと設定されたメモリーが順番に切り替わります。

ミュート（消音）ボタン



補聴器のマイクに入ってくる音を一時的にミュート（消音）の状態にします。再度ボタンを押すとミュートの状態が解除します。

注意：補聴器がミュートの状態の時、リモコンのボタンが押されると、ミュートが解除されると同時に、押されたボタンの機能が実行されます。

お気に入りボタン



お気に入りボタンの設定には次の選択肢があります。

- **設定なし**：お気に入りボタンを押しても反応しません。
- **ストリーミングの開始/停止**：ボタンを押すことでアクセサリーからのストリーミングを開始（または停止）します。
- **コンフォートブースト**：雑音抑制機能をブースト（強化）させます。
- **メモリー4にジャンプ**：メモリー4の設定に変更されます。
- **耳鳴治療音の有効/無効**：補聴器に設定されている耳鳴治療音を再生/停止します。

注意：お気に入りボタンの設定は、スターキー補聴器取扱店で行われる必要があります。また、耳鳴治療音を機能させる際は、耳鼻科医師の処方が必要になります。

トラブルシューティング

症状/ 問題	考えられる原因	解決策
ボタンを押してもLEDが点灯しない	リモコンがロックの状態になっている	ロックスイッチを右から左にスライドさせてください
ボタンを押すと、LEDは点灯するが、補聴器が反応しない	補聴器はリモコンに検出されるまで少し時間がかかることがあります	ロックスイッチを右から左にスライドし、数秒間待ってからボタンを押してください
	補聴器がリモコンとペアリングされていない	補聴器とリモコンのペアリングを実行してください
	補聴器の電池残量が少ないため、ワイヤレス接続ができない	補聴器の電池を新しいものに交換してください 充電式の場合は充電してみてください
両耳の補聴器がリモコンとペアリングされていない	ペアリング中に片耳の補聴器しか認識されていない	再度ペアリングを実行し、両耳の補聴器が検出されることを確認してください
片耳の補聴器のみリモコンに反応する	左右切り替えスイッチが左または右側の位置に設定されている	両耳の補聴器を操作するためには、左右切替えスイッチを中央に動かしてください

規制に関する注意事項

必要情報



電子機器は、地域の規則に従って処理する必要があります。

古い電子機器の廃棄手順

Starkey Hearing Technologiesは、お住まいの地域の法律に従ってリモコンを廃棄することを推奨しています。

以下は、お住まいの地域の廃棄/リサイクル担当者へのアドバイスになります。リモコンを廃棄する際は、必要に応じてこの取扱説明書を一緒にお渡してください。

廃棄/リサイクルご担当者様

この製品には、二酸化マンガンリチウム電池が含まれています。この電池を取り外す必要がある場合には

- マイナスドライバーを使用して本体のカバーを取り外してください。
- バッテリーコネクタを回路基板から取り外してください。
- マイナスドライバーを使用して、本体からバッテリーを取り外してください。

使用目的

本製品は、ワイヤレス式気導補聴器の付属品です。これは、ユーザーが使用する気導補聴器を遠隔で音量調節およびプログラム切り替えを行えることを意味しています。

本製品は、IEC60601-1医療機器規格タイプBの適用部品に分類されています。

本製品は国際的なEMC(電磁両立性)試験の最も厳しい基準に適合するように設計されています。ただし、送電線からの電磁波、空港の金属探知機、他の医療機器からの電磁波、無線信号、静電気放電などによって干渉を受ける可能性があります。

本製品は中性洗剤を湿らせた布で、綺麗に拭き取ることができるように設計されています。

本製品が除細動器やペースメーカーといった植込み型医療機器に干渉する可能性があるかと懸念される場合は、医師または医療機器メーカーに連絡してください。本製品をMRI検査室または高圧室では使用しないでください。本製品は炭鉱や化学工場といった環境での使用は認められていません。

航空機内での使用

本製品は、航空会社の客室乗務員の許可が下りない場合は使用しないでください。

国外での使用

本製品は、日本での使用は承認されていますが、それ以外の国・地域での使用は承認されていない場合があります。

海外旅行中に本製品を使用すると、他の電子機器と干渉する可能性があることに注意してください。

本製品は以下の温度範囲で設計されています。

- 動作時: -20~60℃
- 保存場所: -40~60℃

警告: 本製品を他の電子機器のすぐ近くで使用しないでください。本来の性能を発揮できない可能性があります。やむを得ず使用する場合は、補聴器と電子機器が正しく機能していることを確認してください。

警告: 本製品に製造元以外の部品を使用すると、電磁放射の増加や電磁環境耐性の減少が起こり、その結果、製品の性能低下につながる可能性があります。

警告: 本製品から30cm以内の距離でワイヤレス通信機器を使用している場合、補聴器と本製品のペアリングの性能が低下することがあります。このような場合は、ワイヤレス通信機器を本製品から遠ざけてください。

本製品は防塵・防水に対して、正式に国際等級 (IP) は取得していませんが、IEC60529で規定されたIP5Xレベルの試験は実施されています。これは、本製品が、塵や埃に保護されている、IP5Xの同等製品であることを意味しています。

本製品には、使用者が自分自身で交換できる部品は含まれていません。本製品を分解や改良することはできませんので、ご注意ください。

本製品を、取扱説明書に記載されていない機器と接続することはお止めください。

Wireless Technical Description

The Remote operates in the 2.4 - 2.4835 GHz band with a maximum effected radiated power of 3dBm with transmission modulation type of 1M06F1W. The receiver section of the radio has a bandwidth of 2 MHz.

The Remote has been tested to, and has passed, the following emissions and immunity tests:

- IEC 60601-1-2 radiated emissions requirements for a Group 1 Class B device as stated in CISPR 11.
- Harmonic distortion and voltage fluctuations affecting the power input source as stated in Table 2 of IEC 60601-1-2.
- Immunity to power frequency magnetic fields at a field level of 30 A/m.
- Immunity to ESD levels of +/- 8 kV conducted discharge and +/- 15 kV air discharge.

認証情報

Hereby, Starkey Hearing Technologies declares that Starkey Hearing Technologies Remote is in compliance with the essential requirements and other relevant provisions of Directive 2014/53/EU. A copy of the Declaration of Conformity can be obtained from the addresses below and from docs.starkeyhearingtechnologies.com

Starkey Hearing Technologies
6700 Washington Ave. South
Eden Prairie, MN 55344 USA 

FCC ID:EOA-24RMQ
IC:6903A-24RMQ (Model 950)



Wm. F. Austin House, Bramhall Technology Park
Pepper Road, Hazel Grove, Stockport SK7 5BX
United Kingdom



The following symbols are used in this document and on the Remote:

Produces and receives radio frequency energy.
Interference may occur in the vicinity of equipment marked with the following symbol.



Dispose of properly



